

伊豆市国土強靱化地域計画 ～概要版～

自然・歴史・文化を生かした「豊かな伊豆市暮らし」が持続可能な“強くてしなやかな”地域づくりを目指して

令和2年11月



Q1:「国土強靱化地域計画」ってどんな計画なの?

○近年、激甚化している自然災害に対応するため、被害発生やその影響を最小限にするための対策と、被災後の速やかな復旧・復興を推進することができるしなやかさを併せ持った“強靱”な地域を形成するために、「国土強靱化基本法(※)」に基づいて策定しました。

※「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化法」(平成25年12月11日)

→本編1～3頁

Q2:計画で対象とした自然災害は?

○過去の災害履歴や静岡県内の災害想定などをふまえて、以下のような自然災害を対象としています。

- \*南海トラフ巨大地震をはじめとする地震・津波
- \*台風や集中豪雨などの風水害
- \*土砂災害
- \*伊豆東部火山群の噴火

→本編12～20頁



津波

水害

土砂災害

※写真は学習教材【「防災まちづくり・くにつくり」を考える】(内閣官房国土強靱化推進室)より転載

Q3:自然災害ではどんな被害が発生するの?

- 地震や津波による建物の倒壊、土砂崩れによる道路の寸断や多くの負傷者の発生等の被害が想定されています。
- 計画ではこうした事態をもとに、35の「リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)」を整理しています。

【自然災害の発生により危惧される事態(例示)】



建物が倒壊する

土砂崩れで道路が寸断される

多くの負傷者が発生する

※スケッチは学習教材【「防災まちづくり・くにつくり」を考える】(内閣官房国土強靱化推進室)より転載

→本編21～24頁

【35の「リスクシナリオ」として整理(抜粋)】

- 地震や大規模津波、土砂災害、火山噴火等による建物等の倒壊や火災による死傷者の発生
- 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止
- 緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態
- 市の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下
- 通信インフラの麻痺による災害情報の途絶
- 長期にわたる避難生活

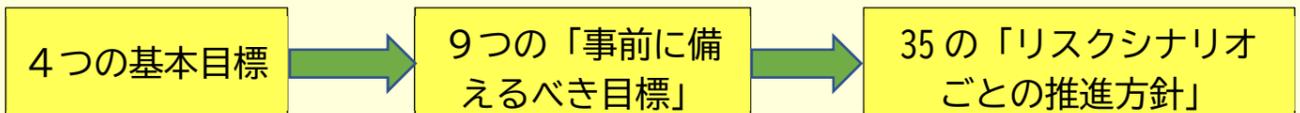
→本編27～28頁

Q4:計画の目標は?

○静岡県国土強靱化地域計画の考え方を基本に、以下の4つの「基本目標」と、9つの「事前に備えるべき目標」を設定し、リスクを回避するための施策の推進方針を取りまとめました。

- いかなる災害が発生しようとも
- 基本目標**
- (1)市民の命を守ること
  - (2)地域社会を支える重要な機能が維持されること
  - (3)市民の財産及び公共施設の被害を最小とすること
  - (4)迅速な復旧復興を可能にすること

→本編25～26頁



Q5:具体的にはどのようなことに取り組むのですか？

○<3つのテーマ>を設定し、地区ごとに以下のような内容に取り組めます。

【市全域の防災拠点配置とネットワーク構想・地区ごとの主な取組】

<3つのテーマ>

- A. 伊豆半島地域の後方支援も担う全市防災拠点整備
- B. 災害時自立生活環境の形成
- C. 浸水による甚大被害想定地区での事前復興準備

【修善寺地区】

- 目指す姿:「ネットワーク型全市防災拠点の形成」
- 主な取組:
  - ・日向地区の全市的な防災拠点公園整備(A)
  - ・骨格となる主要幹線道路整備の要請(A)
  - ・本庁舎や公共施設の防災機能強化(B)

【中伊豆地区】

- 目指す姿:「全市サブ防災拠点の形成」
- 主な取組:
  - ・本庁バックアップ機能を担う中伊豆支所の防災機能強化(B)
  - ・県道伊東修善寺線の拡幅整備の要請(B)
  - ・新たな中伊豆温泉病院周辺の整備(B)
  - ・河川の防災機能強化(C)

この図は、災害時の防災拠点や主要な道路ネットワークを示しています。

注:取組名の後の( )は関連する3つのテーマ記号を記しています。



【土肥地区】

- 目指す姿:「事前復興まちづくりの展開」
- 主な取組:
  - ・国道136号沿いの土砂災害対策の要請(A)
  - ・市管理公共施設の防災機能の強化(B)
  - ・事前復興計画の検討(C)
  - ・津波避難複合施設の整備(C)
  - ・土肥港の防災機能の強化(C)

【天城湯ヶ島地区】

- 目指す姿:「伊豆縦貫自動車道整備促進と連携した災害対応の基盤強化」
- 主な取組:
  - ・伊豆縦貫自動車道の延伸整備と中間インターチェンジの整備促進の国への要請(A)
  - ・国道136号、414号沿いの土砂災害対策の要請(A)
  - ・天城支所等の防災機能強化(B)
  - ・河川の防災機能強化(C)

→本編 29～97 頁

【リスクシナリオごとの主な推進施策(抜粋)】

地震や津波による死傷者の発生

- 住宅・建築物やブロック塀等の耐震化
- 津波避難施設の整備

物資・エネルギーの供給停止

- 非常食や防災資機材を保管する備蓄倉庫の整備
- 上下水道施設の耐震化

緊急輸送路等の途絶

- 伊豆縦貫自動車道の延伸整備要請
- 災害時の主要な役割を担う市道の整備
- 防災拠点へのアクセスに重要な橋梁の耐震化

行政機能の確保

- 迅速な災害対応を可能にする体制の確立
- 市有施設の防災機能の強化

通信インフラの麻痺による災害情報の途絶

- 多種多様な情報を収集するシステムの導入
- 被害状況を一元化するシステムの導入
- 防災行政無線(市内一斉放送)のデジタル化

長期にわたる避難生活

- 応急時の住宅となり得る公営住宅の適切な管理
- 応急仮設住宅の建設用地確保
- 良好な避難生活に配慮した支援体制の構築

→本編 53～83 頁

「伊豆市国土強靱化域計画」は、伊豆市ホームページに掲載しています。 [伊豆市 国土強靱化](#) で検索

問い合わせ先

伊豆市総務部防災安全課  
 〒410-2413 静岡県伊豆市小立野 38-2  
 電話:0558-72-9867 FAX:0558-72-6588  
 E-mail:bousai@city.izu.shizuoka.jp